

# あぐり情報

営農生活課

石井 華奈



## 直売向け野菜の紹介

今月のあぐり情報では、主に秋冬播き野菜についてご紹介します。直売向けに、珍しい品種や作業性に優れる品種の一部をピックアップしました。鮮やかな色合いや珍しい形の野菜は、売り場で目を引くことでしょう。

ただし、珍しい野菜はなかなか手に取ってもらえず、売れるようになるまで苦労することもしばしばあります。

- ① 断面をデイスブレイする
- ② 味や食感を書いて伝える
- ③ 調理法を掲示する

このようにそれぞれのアピールポイントを目立たせる必要があります、売り方を工夫しなければならぬ

のが難点ではあります。今回ご紹介する品種には、消費者へのアピールポイントも記載しますので、ご参考になれば幸いです。

### ◎ホウレンソウ◎

品種：ピンドン（サカタのタネ）  
収穫作業性を極めたドンドン®シリーズの新品種です。低温伸長性に優れ、葉色は極濃緑色です。

### 栽培ポイント

べと病レース1〜9、11〜16に抵抗性があります。立性で隣の株と絡みづらく、軸折れも少ないため作業性に優れます。また、下葉が剥離しやすく、きれいに処理できます。

### アピールポイント

極濃緑色なので、ポタージュやパウンドケーキ等、色の濃さを生かしたい料理には持つてこいです。

### ◎コマツナ◎

品種：よかつた菜®G（カネコ種苗）  
寒さに強く、冬場の低温期でも良く伸びる品種です。葉肉が厚いのでしおれに強く、店持ちが良い

です。彩りが良いのでサラダにするのがオススメです。皮付きで酢漬けにすると色が全体に回り、薄ピンク色に染まります。

### 栽培ポイント

草姿が立性で小葉なので密植が可能です。ダイコンの一般的な株間で栽培して、根長25cmほどのミニサイズになりますが、株間を10〜15cmにすると、根長が10〜15cmの手のひらサイズになります。

### アピールポイント

1回の調理で使い切れる食べきりサイズです。葉も美味しく食べられます。

### ◎カブ◎

品種：あやめ雪®（サカタのタネ）

肩の部分が鮮紫色、下部が白色になる根茎6cm前後のコカブです。若どりでも球形がまとまります。



### 栽培ポイント

草姿は極立性で、葉軸が太くしつかりしているので結束しやすいです。萎黄病の耐病性がありますが、根こぶ病の耐病性がありますので注意が必要です。

### アピールポイント

甘味が強く、生食でも美味しい

です。

### 栽培ポイント

極立性で、葉先までしつかりと立つので、収穫・結束作業性が高いです。葉軸が太く、株張りが良いので収量性も高いです。

### アピールポイント

葉が肉厚なので食べ応えがあります。加熱調理をオススメします。

### ◎シユンギク◎

品種：菊之助（タキイ種苗）

西日本で好まれていた大葉種のシユンギクです。大葉種は、葉の切れ込みが浅く丸みを帯びていて、肉厚です。



栽培ポイント  
葉ぞろい・株ぞろいに優れており、生育旺盛なため栽培しやすい品種です。

### アピールポイント

柔らかい食感とえぐみが少ないことが特徴で、生のままサラダでも美味しく食べることができ、火を通す際は、さつと湯がく程度がベストです。

### ◎ダイコン◎

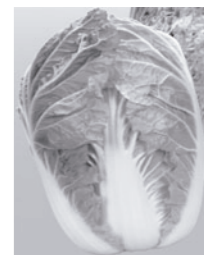
品種：ころっ娘（サカタのタネ）

根長10〜25cm、根径6〜10cmになり、好みの大きさで収穫するミニダイコンです。根と葉のバランスが良いため、葉付で出荷すると荷姿がきれいです。

### ◎ハクサイ◎

品種：極意®（カネコ種苗）

ハクサイ特有のトゲがなく、ハクサイの甘さとレタスの食感を併せ持った品種です。こちらは、播種適期が6〜9月になります。



### 栽培ポイント

播種後約50日で収穫できる極早生品種で、球重は1kg前後になります。成長期に水分を多く必要とするので、乾燥期の栽培には注意が必要です。

### アピールポイント

小ぶりで調理しやすいサイズです。鍋物や漬物等の一般的な調理法だけでなく、サラダやサンドイッチ等の生食にも向いています。

## 強風・降雨対策

例年、この時期は台風の接近が懸念されます。台風被害を軽減するためにも、事前の点検・備えをしておきましょう。

### ■点検・準備

- ① 施設を点検し、破損箇所があれば補修する。
- ② 戸締りをしっかりと行い、出入口の扉は強風で外れないようにする。
- ③ 外部と通じている部分（天窓・換気扇・出入口等）をしっかりと固定する。
- ④ 施設を傷つける恐れがあるため、周辺の資材等は片付ける。
- ⑤ 台風通過中に窓が開かないようにするため、自動開閉装置等の電源は切っておく。

### ・露地栽培について

圃場の排水を早く終えるために、排水路を作って排水を促す。

### ・土壌消毒中の圃場について

被覆資材が飛ばされないように、覆土や重石の確認をする。

### ・果樹（梨）について

① 多目的防災網の押さえ紐を補強する。

② 柵揺れ防止のため、ブロックや土を入れた肥料袋と柵を紐で結んでおく等の対策をする。

### ■台風通過後

・施設に損傷箇所がないか確認し、施設内が高湿、多湿になるため換気をする。

・滞水している場合は、出来るだけ早く排水を行う。

・被害により樹勢が低下している場合は、液肥の葉面散布を行う。樹勢回復を図る。

葉面散布は、高濃度散布を避け、樹勢回復まで継続的に散布すると効果的である。

※台風通過中は大変危険なため、無理に作業をしないでください。